

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本研究について	<p>本研究は、静岡県国民健康保険団体連合会が市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の方の特定健診受診結果、医療レセプト、介護保険審査データを突合して、匿名化処理をした上で静岡県立総合病院に提供した資料を用いて行います。</p> <p>研究対象者に対して、利用目的を含む本研究についての情報を静岡県立総合病院・静岡県国民健康保険団体連合会・静岡県のホームページ上に公開します。</p>
研究課題名	静岡県市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者のデータベースによる医学的エビデンスの創出のための解析研究 - 医療・介護システム評価研究 -
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	リサーチサポートセンター 主任研究員 (慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室) 宮田 裕章
研究期間	2020年2月4日から2023年3月
対象者	2012年度以降の静岡県市町国民健康保険あるいは後期高齢者保険加入者
当該研究の意義・目的	<p>日本は1980年代から世界一の長寿国として、優れた保健アウトカム指標を誇ってきました。しかし近年は少子高齢化や人口増加、政治経済の諸要因に伴い、持続的な保健システムの再設計が喫緊の課題です。</p> <p>本研究では、疾病・介護リスクのエビデンスの構築、医療資源の効率的配分を目的とした、既存の医療・介護システムの再評価を実施します。具体的には、医療・介護ビッグデータを用いて、(1)疾病・介護リスクの早期発見と将来のリスク予測のための数理モデルの構築、さらに(2)過剰な医療介入の関連コスト・要因の同定を行います。</p> <p>本研究は、世界に先駆けて超高齢社会に突入した我が国の健康システムを再評価し、日本の医療・介護改革の最善の解決策を見つけるための新たなデータを提示するものです。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	静岡県国民健康保険団体連合会からハードディスクに保存して提供された2012年度以降の静岡県市町国民健康保険加入者および後期高齢者保険加入者の匿名化された健診結果、医療レセプトデータ、介護保険審査データの突合データを用いて、当院リサーチサポートセンター及び東京大学、慶應義塾大学において解析を行います。な

	お、データは研究対象者個人を直接特定できる情報を取り除いた状態で研究に利用されます。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター 代表 054-247-6111